

2023年度 山梨県看護協会教育部研修一覧

※下記は2023年2月末現在のものです。日程が変更される可能性もありますので、最新の情報はホームページで確認してください。

開催月	開催日	研修名	主な内容	ラダー	定員(名)	受講料 および資料代	参照頁	申込期間
5月	①5/10(水)9:30~12:30 ②5/10(水)13:30~16:30 ※①と②は同じ内容	【NEW】 【新人看護職対象】 身に付けよう！専門看護職業人として働くために必要な社会人基礎力	社会人基礎力とは、看護職として活躍するために必要な社会人基礎力、自分の社会人基礎力を振り返る、養うために心掛ける事	-	各40	1,500円 (会員・非会員共)	25	4/3(月) ~ 4/12(水)
6月	6/1(木)9:30~12:30 6/20(火)9:30~16:00 オンライン	【ファーストレベル受講予定者・経験年数10年以上】 組織の課題と問題解決思考	組織とは、組織分析、問題解決手法 (演習・課題有)	-	80	4,500円	22	4/20(木) ~ 4/30(日)
	6/5(月)	感染予防【基礎編】感染予防の基礎を学ぼう ~患者さんとあなた自身を守るために~	感染の成立と予防に関する考え方、標準予防策、感染経路別予防策、新型コロナウイルス感染症予防策、手指衛生と個人防護具の正しい着脱 (演習有)	I~II	40	3,000円	16	
	6/6(火)・6/13(火)AM	医療安全【基礎編】基礎から学べる医療安全	医療安全の基礎知識、看護職者の基本的責務と法的責任、事故防止対策の取り組み、医療事故時の対応、KYT危険予知トレーニング (演習有)	I~II	40	4,500円	15	
	6/7(水) オンライン	知っておきたい看護職のための栄養管理	栄養障害が身体に及ぼす影響、スクリーニングと必要栄養量の算出、栄養療法の基本と実際、栄養サポートチームの活動、認知症高齢者の栄養管理	I~II	50	3,000円	16	
	6/8(木)・7/20(木)・ 8/24(木)・9/14(木)・ 11/16(木)・2024.1/11(木)	看護研究【基礎から実践への架け橋編】 研究過程に必要な技術を身に付ける	文献検索、研究計画書の意義と作成、データ収集・分析方法、研究倫理、統計の基本、模擬研究を用いた研究発表のための学習等 (演習有) ※現在取り組んでいる看護研究の個別指導はありません	-	20	18,000円	27	
	6/26(月)・6/27(火) 両日とも9:30~16:30	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 ★2023年度 JNA 収録 DVD 研修 ※診療報酬加算対象研修	認知症高齢者に関する医療の現状と国の取り組み、認知症に関連する疾患と病態・治療、組織で取り組む認知症高齢者ケア、看護に必要なアセスメント・コミュニケーション・援助技術、多職種・看看護連携のあり方と進め方 (演習有)	-	60	会 員：6,270円 非会員：9,460円	14	
	6/28(水)	感染予防【実践編】所属部署におけるリンクナースの役割 ~感染リンクナースとして活動するために~	感染対策の基本知識(復習程度)、感染対策の目的、組織におけるリンクナースの役割、事例を用いた感染予防策の検討・リンクナースの役割 (演習有)	II~III	30	3,000円	16	
	6/29(木) 13:00~16:00	【中堅看護師対象】 キャリア形成の“これから”を考える	中堅看護師の役割、現場で求められていることと抱えるジレンマ、仕事とプライベートの両立、マインドセット、あるべき姿からありたい姿へ (演習有)	-	30	1,500円	25	
6/30(金)	ひとつとじゃない！慢性腎臓病(CKD) ~予防から維持透析まで~	腎臓の構造と働き、新型コロナ感染と透析医療、透析看護各論(CKD 保存期の看護・食事管理支援・ドライウエイト・精神的支援等)	I~II	30	3,000円	22		
7月	7/4(火) 13:00~16:00	【新人看護職対象】 看護職として生き活きと働くために ※7/6と同じ内容	今の自分を見つめる、自分を知る、自分の成長を実感する、他施設の新人看護職と語り合う ※技術の研修ではありません ※看護協会紹介有	-	40	1,500円 (会員・非会員共)	25	5/20(土) ~ 5/31(水)
	7/6(木) 13:00~16:00	【新人看護職対象】 看護職として生き活きと働くために ※7/4と同じ内容	今の自分を見つめる、自分を知る、自分の成長を実感する、他施設の新人看護職と語り合う ※技術の研修ではありません ※看護協会紹介有	-	40	1,500円 (会員・非会員共)	25	
	7/7(金)・8/29(火)・ 9/3(日)・10/20(金)・ 11/8(水) オンライン	脳血管障害をもつ人の生活再構築支援 ~急性期から回復期・生活期まで~	脳の解剖生理、脳卒中治療の基礎知識、急性期・回復期・生活期の看護、高次脳機能障害をもつ方へのリハビリテーション、家族支援、介護保険制度 等	II~III	30	15,000円	21	
	7/10(月)・8/14(月)・ 9/21(木)・11/13(月)・ 2024.2/1(木)	感染予防【応用編】 現場に活かせる感染対策	所属部署(施設)の現状把握、問題の抽出、課題の明確化、具体的な解決策の検討、実践計画書の立案、実践(演習)、実践報告書の作成、実践報告会 ※自施設での看護実践を報告書にまとめて発表していただきます	III	30	15,000円	17	
	7/13(木)9:30~16:00 オンライン	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版2022 ※診療報酬加算対象研修	看護補助者の活用促進の背景、看護補助者の位置づけ、看護補助者との協働に関する基本的な考え方、業務実施体制整備、補助者確保と労働環境整備、看護補助者の育成・研修・能力評価、看護補助者体制整備に関する対策案の作成 (演習・事前課題有)	-	40	3,000円	13	
	7/20(木)	ライフサイクルから捉える女性のヘルスケア	女性のライフサイクルとホルモン動態、仕事を持つ女性特有の健康問題、女性の健康管理、ストレスマネジメント、自己の傾向を知る、最近のトピックス、エクササイズ(ストレッチとヨガ演習有) ※ヨガが初めての方も受講いただけます	I~II	30	3,000円	19	
	7/21(金)・8/15(火)・ 9/26(火) オンライン	変わる！あなたの認知症看護 ※診療報酬加算対象研修	認知症の原因疾患・症状・治療、認知症の人を正しく理解する、活用できる社会資源、事例で捉える認知症看護の視点 (演習・事前課題有)	-	60	9,000円	14	
	7/24(月)	医療安全【実践編】 施設の医療安全の役割できていますか？	医療事故の背景、組織における医療安全委員・係の役割、事故事例分析方法(P-mSHELL分析)・医療安全における自己の役割 (演習有)	II~III	30	3,000円	15	
	7/24(月)・8/22(火) オンライン	【教育委員・研修担当者対象】 施設内研修企画に必要な基礎知識 ~研修企画のプロセスを学ぼう~	教育の必要性、成人学習者の特徴、現任教育の現状と課題、研修企画・評価の基本的要素、事例を基にした研修計画(案)・評価計画(案)の作成 (演習・事前課題有)	-	30	6,000円	23	
8月	8/1(火)・8/2(水)AM	災害看護 【災害はすぐそこに！！】 ~災害看護の基本的知識と私たちが今、行うべきこと~	災害サイクル、CSCATTT、災害発生時の被災地内病院における初期対応、備えとしての平時の予防策、災害教育と防災訓練、T/T (演習)、災害机上訓練(演習)、災害支援時のあり方	-	50	4,500円	13	6/20(火) ~ 6/30(金)
	8/3(木)・9/13(水)・ 10/17(火)・11/21(火)	【新任副看護師長(主任)対象】 看護管理の第一歩	看護管理に必要なマネジメント、看護管理者の倫理観、問題解決技法の基礎知識(あるべき姿の描出・現状把握・あるべき姿とのギャップ・分析による問題点の抽出・課題の明確化・解決策の立案)、自律した管理者を目指して (演習有)	-	40	12,000円	22	
	8/7(月)・9/27(水)・ 10/5(木)・11/1(水)・ 12/8(金) オンライン	がん看護のアップデート	山梨県のがん対策、がん看護の基礎知識、患者の心理過程、コミュニケーション、症状マネジメント、化学療法、薬物療法、がんサバイバーシップ、意思決定支援、家族ケア、退院調整・退院支援、在宅支援 ※事例検討会はありません	II~III	30	15,000円	20	

※下記は2023年2月末現在のもので、日程が変更される可能性もありますので、最新の情報はホームページで確認してください。

開催月	開催日	研修名	主な内容	ラダー	定員(名)	受講料および資料代	参照頁	申込期間
8月	8/10(木)・9/1(金)・9/22(金)・11/17(金)・2024.2/8(木)	医療安全【応用編】 チームで取り組む医療安全	安全文化の醸成、所属部署(施設)の現状把握、問題の抽出、課題の明確化、具体的な解決策の検討、実践計画書の立案、実践(演習)、実践報告書の作成、実践報告会 ※自施設での看護実践を報告書にまとめて発表していただきます	Ⅲ	30	15,000円	15	
	8/23(水)	発達障害の傾向がある大人の特徴を理解した支援 ～スタッフ・学生の指導に活かす～	大人の発達障害を取り巻く現状と課題、大人の発達障害の特徴、発達障害の傾向がある看護学生・看護職に対する支援と取り組みの実際	Ⅱ	50	3,000円	20	
	8/26(土)・9/15(金)	【保健師対象】 災害時における行政保健師の役割と行動	地震や水害などの自然災害や新規感染症禍での災害対応として行政保健師に求められる役割、発災24時間未満・発災24～72時間の判断と行動、支援に関わる役割 (演習・事前課題有)	-	30	6,000円	26	6/20(火) ～ 6/30(金)
	8/28(月)・9/11(月) オンライン	現場に活かせるせん妄予防 ～発症予防・重症化予防のポイントを学ぶ～	せん妄の基礎知識(原因・悪化促進因子・せん妄の評価・薬物治療)、せん妄に関する現場の課題、アセスメントからケアの流れ、効果的なせん妄予防策、せん妄発症者への対応事例 (演習有)	Ⅱ	30	6,000円	21	
	8/29(火)・8/30(水) AM	【5年目以上看護職対象】 看護の現場で活かすファシリテーターの役割 ～より良いカンファレンス・会議に向けて～	ファシリテーションの基本的知識、問題解決プロセスとファシリテーション、議論を促進するコミュニケーションスキル、より良いカンファレンスに向けて (演習有)	-	50	4,500円	24	
9月	9/4(月)	摂食嚥下障害を持つ人への看護	口から食べることの意味、摂食・嚥下のメカニズムとアセスメント、食べるための口作りと各種訓練法、口腔ケア、リスク管理、事例報告 (演習有)	I～II	40	3,000円	20	
	9/7(木)	看護職のメンタルヘルス ～自分のこころをケアしよう～	看護職の現状、ストレスを知る、ストレスマネジメント、マインドフルネス・セルフコンパッションの効果と実践 (演習有)	-	30	3,000円	25	
	9/8(金)・9/19(火) オンライン	褥瘡ケアの基本的知識 ～予防からケア計画の立案まで～	皮膚の解剖生理、創傷治癒過程、褥瘡の発生機序、ずれ対策、体圧分散、スキンケア、外用薬・ドレッシング材・衛生材料の選択、褥瘡経過評価スケールの付け方・使用方法、ケア計画の立案 (演習有)	I～II	50	6,000円	14	7/20(木) ～ 7/31(月)
	9/12(火)・10/3(火)	看護研究【基礎編】 日頃の疑問を研究につなげる	看護研究の基礎知識、文献検索、文献抄読、研究テーマの絞り込み (演習・事前課題有)	-	20	6,000円	27	
	9/21(木)・9/28(木) 1日目オンライン・ 2日目対面	【准看護師対象】 看護過程の基本を学ぶ	看護過程とは、看護過程のプロセス、アセスメントの考え方、関連図、看護記録の必要性、記録を書く時の留意点 (演習有)	-	30	6,000円	26	
	9/29(金)・10/13(金)・ 11/9(木) オンライン	呼吸器ケアと循環器ケア ～呼吸不全・心不全に関する知識と技術の向上を目指して～	呼吸器系・循環器系のフィジカルアセスメント、呼吸不全・心不全とリハビリテーション、事例検討、呼吸助手法、聴診法、ポジショニング、体位排痰法 ※実技演習はありません	II～III	60	9,000円	18	
10月	10/14(土) 9:30～16:30	【NEW】(経験年数3年以上・管理者を除く) 看護リフレクション ～看護の質を高める看護実践・体験の語り～	リフレクション・看護リフレクションとは、体験から学ぶとは、看護リフレクションの流れ、看護リフレクションの実際 (演習・事前課題有)	-	30	3,000円	24	
	10/19(木)	【NEW】 地域包括ケアシステムにつなげる外来看護	今日の外来医療の変化、外来での在宅療養支援に必要なこと、患者のニーズを的確に把握して支援につなげるポイント、病棟・外来・地域がつながりあった支援体制のあり方 (演習有)	II～III	30	3,000円	18	
	10/23(月)・11/11(土)	糖尿病看護の基本と行動変容を促す療養支援のコツ	糖尿病とは、糖尿病合併症、検査および治療、患者との接し方、「くせ」と「ずれ」、咀嚼法体験、マインドフルネスやコーチング技法を用いたアプローチ、症例検討 (演習・事前課題有)	I～III	30	6,000円	21	8/20(日) ～ 8/31(木)
	10/27(金)	子どもの心理発達と虐待予防	子どもの身体・心理発達の特徴、アタッチメントと養育支援、子どもの虐待への対応、子どもの視野(チャイルドビジョン)体験	I～III	40	3,000円	19	
	10/31(火)	【看護管理者・主任以上の中堅看護職・災害看護員対象】 災害看護【山梨県の災害リスクと看護職の災害マネジメント】 ～災害対応力を高めるために～	山梨県の災害リスクと防災対策、災害発生時病院で起こること、災害対策委員会の役割と災害教育、災害対策マニュアル整備の考え方、効果的な災害訓練、自施設の課題 (演習・事前課題有)	-	40	3,000円	13	
11月	11/2(木)	希望する最期を迎えるための看護職の役割	在宅療養支援診療所医師の立場から、今日の看取りの現状と課題、多職種連携、ACPの基本的理解、協働意思決定における問題、もしバナゲーム (演習・事前課題有)	II～III	40	3,000円	19	
	11/7(火)	精神障がい者を理解したコミュニケーション	精神障がい者の思考の特徴・行動との関連性、精神障がい者の行動化の理解と対話、精神障がい者との対面場面の対応に関するロールプレイ (演習・事前課題有)	I～II	30	3,000円	19	9/20(水) ～ 9/30(土)
	11/28(火)・ 2024.2/20(火)	病院と地域をつなぐ入退院支援 ～住み慣れた地域で暮らし続けるために～	退院支援マネジメントの基本、地域包括ケアセンター保健師の役割と実践、訪問看護ステーション看護師の役割と在宅療養の実践、レポート作成、実践事例の振り返り (演習・課題有)	II～III	40	6,000円	17	
12月	12/9(土)	周術期をめぐる患者の看護	周術期看護の目的、周術期看護に必要な知識、術前～術後の看護、手術室の看護倫理 (演習有)	I～II	30	3,000円	18	10/20(金) ～ 10/31(火)
	12/12(火)	看護職のためのアンガーマネジメント ～感情コントロールを身につけ、怒りとうまく付き合うために～	アンガーマネジメントとは、怒りが生まれるメカニズム、上手な叱り方・悪い叱り方、怒りの連鎖を断ち切る、自分のタイプを知る (演習有)	-	50	3,000円	24	
1月	2024.1/18(木)	看護職者としての倫理的感性を磨こう!	看護倫理とは、臨床で直面する倫理的諸問題、意思決定のプロセスとインフォームド・コンセント、事例検討 (演習有)	I～II	50	3,000円	17	11/20(月) ～ 11/30(木)
	2024.1/23(火)	医療コミュニケーション技法のエッセンス	コミュニケーションスキルの基本(傾聴・共感・受容など)、患者・家族等人間関係を築くための対話の工夫、ロールプレイ (演習有)	I～III	40	3,000円	16	
3月	2024.3/3(日)	ティーチング・コーチングを活用したスタッフ指導 ～自立したスタッフを育成するために～	自立・成長を支援するためのティーチング・コーチングの使い分け、効果的な支持の方法、効果的な助言の方法、コーチングの方法 (演習有)	-	40	3,000円	24	1/20(土) ～ 1/31(水)

2023年度研修目次（分類別）

※分類1～5は日本看護協会分類に準ずる、分類6～7は山梨県看護協会独自

分類	通し 番号	研修名	ラダー	ページ 番号
1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	1	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版2022	—	13
	2	災害看護【災害はすぐそこに!!】	—	13
	3	災害看護【山梨県の災害リスクと看護職の災害マネジメント】	—	13
	4	褥瘡ケアの基本的知識 ～予防からケア計画の立案まで～	—	14
	5	2023年度JNA収録DVD研修 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	—	14
	6	変わる！あなたの認知症看護	—	14
2 ラダーと連動した継続教育	7	医療安全【基礎編】基礎から学べる医療安全	I～II	15
	8	医療安全【実践編】施設の医療安全の役割できていますか？	II～III	15
	9	医療安全【応用編】チームで取り組む医療安全	III	15
	10	医療コミュニケーション技法のエッセンス	I～III	16
	11	知っておきたい看護職のための栄養管理	I～II	16
	12	感染予防【基礎編】感染予防の基礎を学ぼう	I～II	16
	13	感染予防【実践編】所属部署におけるリンクナースの役割	II～III	16
	14	感染予防【応用編】現場に活かせる感染対策	III	17
	15	看護職者としての倫理的感性を磨こう！	I～III	17
	16	病院と地域をつなぐ入退院支援	II～III	17
	17	地域包括ケアシステムにつなげる外来看護	II～III	18
	18	呼吸器ケアと循環器ケア	II～III	18
	19	周術期をめぐる患者の看護	I～II	18
	20	希望する最期を迎えるための看護職の役割	II～III	19
	21	子どもの心理発達と虐待予防	I～III	19
	22	ライフサイクルから捉える女性のヘルスケア	I～II	19
	23	精神障がい者を理解したコミュニケーション	I～II	19
	24	発達障害の傾向がある人の特徴を理解した支援	II	20
	25	がん看護のアップデート	II～III	20
	26	摂食嚥下障害をもつ人への看護	I～II	20
	27	現場に活かせるせん妄予防	II	21
28	糖尿病看護の基本と行動変容を促す療養支援のコツ	I～III	21	
29	脳血管障害をもつ人の生活再構築支援	II～III	21	
30	ひとごとじゃない！！慢性腎臓病（CKD）	I～II	22	
31	褥瘡ケアの基本的知識 ※研修番号4再掲	I～II	14	
3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	32	【ファーストレベル受講予定者・経験年数10年目以上対象】組織の課題と問題解決思考	—	22
	33	【新任副看護部長（主任）対象】看護管理の第一歩	—	22
	34	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版2022 ※研修番号1再掲	—	13
4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	35	【教育委員・研修担当者対象】施設内研修企画に必要な知識	—	23
5 資格認定教育	36	認定看護管理者教育課程セカンドレベル ※隔年開催	—	23
	37	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	—	23
6 人材育成	38	看護職のためのアンガーマネジメント	—	24
	39	【経験年数3年目以上・管理者を除く】看護リフレクション	—	24
	40	ティーチング・コーチングを活用したスタッフ指導	—	24
	41	【5年目以上看護職対象】看護の現場で活かすファシリテーターの役割	—	24
	42	看護職のメンタルヘルス	—	25
	43	【新人看護職対象】身に付けよう！専門職業人として働くために必要な社会人基礎力	—	25
	44	【新人看護職対象】看護職として活き活きと働くために	—	25
	45	【中堅看護師対象】キャリア形成の“これから”を考える	—	25
	46	【准看護師対象】看護過程の基本を学ぶ	—	26
	47	【保健師対象】災害時における行政保健師の役割と行動	—	26
48	【ファーストレベル受講予定者・経験年数10年目以上対象】組織の課題と問題解決思考 ※研修番号32再掲	—	22	
7 看護研究	49	看護研究【基礎編】日頃の疑問を研究につなげる	—	27
	50	看護研究【基礎から実践への架け橋編】研究過程に必要な技術を身に付ける	—	27

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
1. 看護補助者活用推進 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版2022 ※診療報酬加算対象研修 1日間 オンライン 7月13日(木) 9:30～16:00	【研修のねらい】 効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育および就労環境について理解し、自施設における看護補助者体制整備の一助となる。 午前は、日本看護協会講師による看護補助者の活用に関する制度の理解、職員との連携と業務整理、雇用形態と処遇等、育成・研修・能力評価の講義です。午後は、午前中の講義をふまえ、看護補助者体制整備に関する課題への対策案の作成を行います。山梨県内施設の受講者と情報交換しながら、グループワークを行い、職場環境改善の一助になることを期待しています。 修了証の発行には、全時間の受講が必須です。	【講師】 日本看護協会 理事 等 【演習支援者】 各病院等の認定看護管理者 看護管理者 8名程度
	【主な内容(講義・演習)】 ・看護補助者の活用促進の背景 ・看護補助者の位置づけ ・看護補助者との協働に関する基本的考え方 ・業務実施体制の整備 ・補助者確保と労働環境整備 ・看護補助者の育成・研修・能力評価 ・看護補助者体制整備に関する課題に対する対策案の作成	
2. 災害看護 災害はすぐそこに!! ～災害看護の基本知識と私たちが今、行うべきこと～ 1.5日間 ①8月1日(火) ②8月2日(水) ②のみ9:30～12:00	【研修のねらい】 災害看護の基本的知識と災害発生時に所属部署でとるべき行動を想定でき、自己の果たすべき役割を見出す。 幅広い対象者向けの研修です。災害の基本的な内容や災害時に病院看護師として取る行動について具体的に学んでいきます。また、病院看護師が災害対策に日頃どのような研修を受けているか興味をお持ちの、行政保健師、訪問看護師、高齢者介護施設に勤務する看護師等、様々な現場で働く看護職にも参加いただきたい研修です。 受講後は災害看護【山梨の災害リスクと看護職の災害マネジメント】の受講をお勧めします。	【講師】 山梨赤十字病院 看護師長 小山 ひろ美
	【主な内容(講義・演習)】 ・災害とは、災害サイクル、CSCATTT ・災害看護の考え方、役割 ・災害時の初期対応、平時の予防対策 ・備えとしての対策(災害教育、防災訓練) ・災害対応に関する机上演習 ・災害支援時の在り方	
3. 災害看護 山梨県の災害リスクと看護職の災害マネジメント ～災害対応力を高めるために～ 1日間 10月31日(火) 9:30～16:00 【受講対象】 看護管理者・主任以上の中堅看護職・災害委員	【研修のねらい】 山梨の災害リスクの理解と平時や災害時の災害対策委員・看護管理者の役割や対応について考える。 山梨県の地形から考えられる災害リスクについて理解することは、災害委員・管理者として所属施設の防災対策を考える上でとても重要です。災害時に迅速に対応するための平時からの災害マネジメントを学び、効果的な看護職の災害対応力について、一緒に考えてみませんか。	【講師】 山梨県立大学 客員教授 奥水 達司 公益財団法人小千谷総合病院 元看護部長 NPO法人防災サポートおぢや元理事 佐藤 和美
	【主な内容(講義・演習)】 ・山梨県の地質・地形から考える災害リスク(地震、豪雨・豪雪、火山噴火) ・災害発生時病院で生じる事 ・災害対策委員等の役割と災害教育 ・災害対策マニュアル整備の考え方 ・効果的防災訓練 ・自施設の課題への対応検討	

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>4. 褥瘡ケア</p> <p>褥瘡ケアの基本的知識 ～予防からケア計画の立案まで～</p> <p>2日間 オンライン ①9月8日(金) ②9月19日(火)</p>	<p>【研修のねらい】 臨床における褥瘡に関する基本的知識を理解し、褥瘡を予防する方法を学ぶ。褥瘡経過評価スケールを活用して、個別的なケア計画が立案できる。</p> <p>褥瘡予防の基本的知識やずれ対策・圧再分散など、褥瘡を発生させないことに重点を置いた学習をし、それらの知識を活かしつつ、実際の褥瘡事例をもとに具体的なケア計画の立案を行います。実践力の獲得が期待できます。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】 1日目 ・褥瘡とは、褥瘡発生機序 ・褥瘡のリスクアセスメント、体圧分散マットレス ・創傷治癒過程、スキンケア、背ぬき、ポジショニング ・外用薬、ドレッシング材、衛生材料 ・DESIGN-R®からDESIGN-R®2020へ ・褥瘡経過評価スケールの点数の付け方、評価方法 2日目 ・ケア計画の立案(急性期事例・慢性期事例) ・DESIGN-R®2020を用いた採点、評価</p>	<p>【講師】 山梨県立中央病院 院長補佐 塚本 克彦 市立甲府病院 新井 佳那子 山梨県立中央病院 志村 友紀 甲府共立病院 林 幸恵 上記3名皮膚・排泄ケア認定看護師 JCHO山梨病院 桑田 幸子 山梨厚生病院 手塚 奈緒美 上記2名皮膚・排泄ケア認定看護師 特定行為研修修了者</p> <p>【演習支援者 ※事例提供者を含む】 皮膚・排泄ケア認定看護師 4名</p>
<p>5. 認知症看護</p> <p>2023年度 JNA 収録 DVD 研修 認知症高齢者の看護実践に必要な知識</p> <p>※診療報酬加算対象研修</p> <p>2日間 DVD 視聴 ①6月26日(月) ②6月27日(火) いずれも9:30～16:30</p>	<p>【到達目標】 認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる。入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる。</p> <p>修了証の発行には、全時間の受講が必須です。 ※DVD研修については、資料印刷を外部委託する都合上、受講決定後のキャンセルはできませんのでご承知ください(受講料をいただきます)。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】 ・認知症高齢者に関する医療の現状と国の取り組み ・認知症に関連する疾患と病態、治療 ・組織で取り組む認知症高齢者ケア ・アセスメント、コミュニケーション、援助技術 ・多職種・看視連携のあり方と進め方 ・適した療養環境と調整方法 ・特有な倫理的課題、意思決定支援</p>	<p>【講師】 国立がん研究センター先端医療開発センター 小川 朝生 他</p> <p>【演習支援者】 認知症看護認定看護師 1名</p>
<p>6. 認知症ケア(複数日)※</p> <p>変わる！ あなたの認知症看護</p> <p>3日間 オンライン ①7月21日(金) 9:30～14:30 ②8月15日(火) 9:30～16:30 ③9月26日(火) 9:30～15:30</p> <p>※診療報酬加算対象研修</p>	<p>【研修のねらい】 認知症の方1人ひとりに個性のある看護を実践するための認知症看護の基礎的知識・技術・態度を習得する。</p> <p>認知症高齢者の方との関わりやコミュニケーションに悩みを抱える看護職者を対象にしています。認知症看護のコツやヒント、やりがいや魅力を理解するとともに、認知症看護が“わかり”、明日からのご自身の認知症看護が“変わる”ことを目指します。</p> <p>修了証の発行には、全時間の受講が必須です。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】 1日目 ・認知症の原因疾患と病態生理、治療 ・行動・心理症状(BPSD)、せん妄の予防と対応法 ・国および山梨県の動向、現状、取り組み 等 2日目 ・コミュニケーション方法、療養環境の調整方法 ・認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援 ・家族支援、在宅療養者支援 3日目 ・認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術(入院時、在宅療養含む)、事例検討</p>	<p>【講師】 日下部記念病院 病院長 久保田 正春 日下部記念病院 精神保健福祉士 精進 直幸 山梨県立大学 看護実践開発研究センター 狩野 英美 ますほ訪問看護ステーション 石井 啓子 山梨赤十字病院 乙顔 正美 上記3名、認知症看護認定看護師</p> <p>【演習支援者】 認知症看護認定看護師 7名</p>

分類2 ラダーと連動した継続教育

(*は山梨県委託事業)

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>7. 医療安全【基礎編】</p> <p>基礎から学べる医療安全</p> <p>1.5日間</p> <p>①6月6日(火)</p> <p>②6月13日(火)</p> <p>②のみ9:30～12:00</p> <p>【ラダー I～II】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>医療安全に関する基礎的知識・技術・態度を習得し、日常業務において医療安全対策を実施する。</p> <p>医療安全の基本的知識の習得をめざした研修とし、医療安全の係や委員でなくても、医療安全に興味のある看護職が参加できる研修として企画しました。安全に対する意識を高め、自部署での取り組みを振り返る機会を提供します。グループワークでは、KYTの演習を行い、演習を通して危険予測の仕方を学び職場で実践する力を身に付けます。病院看護職だけでなく、訪問看護師など在宅医療に携わる看護職の受講もお待ちしております。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全の基礎知識 ・看護職者の基本的責務と法的責任 ・医療事故発生時の対応 ・事故防止対策への取り組み ・危険予知トレーニングの考え方、仕方 	<p>【講師】</p> <p>甲府共立病院 看護師長 前GRM 和知 えり子</p>
<p>8. 医療安全【実践編】</p> <p>施設の医療安全の役割できていますか?</p> <p>1日間</p> <p>7月24日(月)</p> <p>【受講対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する病棟の係、委員になる予定の者 ・経験年数2年目以上で医療安全に興味があり、委員と協力して改善に取り組める方 <p>【ラダー II～III】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>医療安全に関する動向やEBMに基づく医療安全対策、所属部署の医療安全に関する委員・係の役割、事故事例分析の方法(Pm-SHELL分析)を学び、自己の果たす役割を見出すことができる。</p> <p>インシデント・アクシデントについて、事故発生の背計を分析することが課題となっていることも多いです。この研修では、医療安全に関する動向を学びながら、実態把握できるような事故事例分析の方法(Pm-SHELL分析)を学び、施設で役割を担った際、委員として自分がとるべき役割を見出すことを目指しています。医療安全の役割でないスタッフも、事故事例分析を通して自ら事故防止のシステムについて考えることができます。研修受講後は、現場の医療安全対策の課題解決の立案、実施に取り組んでいけるように、医療安全【応用編】の受講をお勧めします。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に関する動向と情報収集方法 ・組織における医療安全係、委員の役割 ・事故事例分析方法(Pm-SHELL分析) 	<p>【講師】</p> <p>富士吉田市立看護専門学校 専任教員 元GRM 流石 和美</p> <p>【演習支援者】</p> <p>施設のGRM・協会の安全推進委員 6～7名</p>
<p>9. 医療安全【応用編】*</p> <p>チームで取り組む医療安全</p> <p>5日間</p> <p>①8月10日(木)</p> <p>②9月1日(金)</p> <p>③9月22日(金)</p> <p>④11月17日(金)</p> <p>⑤2024年2月8日(木)</p> <p>【受講対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全委員などの役割を担っている者or今後担う予定の者 ・医療安全に関する課題に取り組む意思のある者 ・医療安全【基礎編】【実践編】を受講していること(または過去に同内容の研修を受講していること)が望ましい <p>【ラダー III】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>医療安全に関する知識を深め、所属部署(部署施設)の医療安全対策における解決策を検討し、計画を基に主体的に実践し、その成果を報告できる。</p> <p>医療安全に関する知識を統合させ、自らのテーマ(目標)を設定し、実践計画書の立案・実施・考察(評価)を行います。演習支援者による助言・相談を受けながら、最終的に実践報告書をまとめ発表することで、自らの成長を認め、更なる課題を見出すことができるでしょう。</p> <p>※自施設での看護実践を報告書にまとめて発表していただきます</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全文化醸成への取り組み ・医療安全教育、職員教育 ・医療安全管理体制の実践、安全対策の実践 ・問題解決の検討方法、分析方法 等 <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全とコミュニケーション ・医療安全に関する自己の関心や疑問の抽出 ・問題の根拠となる情報収集、分析、課題の明確化(焦点化) ・昨年度受講者の医療安全実践報告 <p>3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践計画書の精練 ・実践スケジュールの検討 <p>4日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況報告会(中間報告) ・実践報告会に向けた準備 <p>5日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践報告会 	<p>【講師】</p> <p>健康科学大学看護学部 教授 小林 美雪 山梨大学医学部附属病院看護部管理室 医療の質・安全管理部 看護師長・GRM 伊藤 雅美</p> <p>【演習支援者】</p> <p>山梨県内病院 GRM等 3～4名</p> <p>【実践報告者】</p> <p>2022年度医療安全【応用編】 受講者 2名</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>10. コミュニケーション</p> <p>医療コミュニケーション技法のエッセンス</p> <p>1日間 2024年1月23日(火)</p> <p>【ラダー I～Ⅲ】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>コミュニケーション技法の基本を学び、看護職として患者、療養者、家族、医療従事者を含めた人間関係のより良い構築方法について理解する。</p> <p>患者の意思の尊重や個別性に合ったケアをするには、専門職としてのコミュニケーション技術が必要であると言われてはいますが、その技術の練習の機会や研修は多くありません。また、最近では、患者や家族との対話に加えて、医師や他職種とのやりとりに悩みを抱える声を聞きます。患者や療養者と同じ目線に立ち、一緒に喜び、悩み、悲しむことができるパートナーシップについて、実践的に学べる研修です。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療者に求められるコミュニケーション技能 ・医療コミュニケーションスキルの基本(傾聴・共感・受容) ・説明場面でのポイント ・LEANのモデル ・チーム医療の中のコミュニケーション ・シナリオを用いたロールプレイ 	<p>【講師】</p> <p>岐阜大学医学教育開発研修センター 教授 藤崎 和彦</p>
<p>11. 栄養管理</p> <p>知っておきたい看護職のための栄養管理</p> <p>1日間 オンライン 6月7日(水)</p> <p>【ラダー I～Ⅱ】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>栄養障害が身体に及ぼす影響・スクリーニングおよび必要栄養量の算出方法、栄養療法の基本と実際など、看護職が押さえておくべき栄養管理全般について学ぶ。</p> <p>外来、病棟、在宅、どの場面においても栄養管理は大切です。この研修では、栄養に関する基礎知識や栄養障害による身体への影響、アセスメントや実践等を学びます。経験年数・職場を問わず(病院、在宅等)、どなたでも受講いただけます。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養サポートチームの活動 ・栄養障害が体に及ぼす影響 ・スクリーニングと必要栄養量の算出 ・栄養療法の基本と実際 	<p>【講師】</p> <p>聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター集中ケア認定看護師 NST専門療養士 臨床栄養代謝専門療養士 川畑 亜加里</p>
<p>12. 感染予防【基礎編】</p> <p>感染予防の基礎を学ぼう ～患者さんとあなた自身を守るために～</p> <p>1日間 6月5日(月)</p> <p>【ラダー I～Ⅱ】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>感染予防に関する基礎的知識・技術・態度を習得し、日常業務において感染予防を実践する。</p> <p>CDCガイドラインの標準予防策の原則をもとに、医療従事者として、最低限身につけておきたい基礎知識を学ぶことができます。个人防护具の着脱及び正しい手洗い方法(演習)なども学びます。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染の成立と予防に関する考え方 ・標準予防策 ・感染経路別予防策 ・新型コロナウイルス感染予防策 ・手指衛生と个人防护具の正しい着脱 	<p>【講師】</p> <p>山梨大学医学部附属病院 感染管理認定看護師 窪川 佳世</p> <p>【演習支援者】</p> <p>感染症看護専門看護師ないし感染管理認定看護師 2名</p>
<p>13. 感染予防【実践編】</p> <p>所属部署におけるリンクナースの役割～感染リンクナースとして活動するために～</p> <p>1日間 6月28日(水)</p> <p>【受講対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染の基礎知識を持っていること、感染に関する病棟の係、委員や予定の看護職 <p>【ラダー II～Ⅲ】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>リンクナースとしての役割意識が持て、現場での活動方法を見出す。</p> <p>感染予防・管理の基礎的知識を活用し、感染症が発生した際の感染対策を立案し現場で実践できることを目指しています。リンクナースとして何をしたらよいかかわからないと悩んでいる皆さんにお勧めです。また、病棟の係・委員と協力して、現場の感染対策を考えていける看護職も受講対象です。研修受講後は実施への知識を深めるためには感染予防【応用編】もあります。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染に関する動向と情報収集方法 ・経路別標準予防策(おさらい) ・組織におけるリンクナースの役割 ・自施設のマニュアルを確認 ・リンクナースの活動の実際 ・事例検討 	<p>【講師・演習支援者】</p> <p>市立甲府病院 感染管理認定看護師 九川 卓也</p> <p>【演習支援者】</p> <p>感染管理認定看護師 6名</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>14. 感染予防【応用編】*</p> <p>現場に活かせる感染対策</p> <p>5日間 ① 7月10日(月) ② 8月14日(月) ③ 9月21日(木) ④ 11月13日(月) ⑤ 2024年2月1日(木)</p> <p>【受講対象】 ・感染対策に関する役割を担っている者 or 今後担う予定の者 ・感染対策に関する課題に取り組む意思のある者 ・感染予防【基礎編】【実践編】を受講していること(または過去に同内容の研修を受講していること)が望ましい</p> <p>【ラダー Ⅲ】</p>	<p>【研修のねらい】 感染に関する知識を深め、所属部署(部署施設)の感染対策における解決策を検討し、計画を基に主体的に実践し、その成果を報告できる。</p> <p>感染対策に関する知識を統合させ、自らのテーマ(目標)を設定し、実践計画書の立案・実施・考察(評価)を行います。演習支援者による助言・相談を受けながら、最終的に実践報告書をまとめ発表することで、自らの成長を認め、更なる課題を見出すことができるでしょう。 ※自施設での看護実践を報告書にまとめて発表していただきます</p> <p>【主な内容(講義・演習)】 1日目 ・山梨県における感染対策の現状と課題 ・感染対策における看護師の役割 ・現場に潜む感染の課題と取り組みのヒント 2日目 ・職員教育、データの収集方法、まとめ方、表し方 ・感染対策に関する自己の関心や疑問の抽出 ・問題の根拠となる情報収集、分析、課題の明確化(焦点化) ・昨年度受講者の感染対策実践報告 3日目 ・実践計画書の精練 ・実践スケジュールの検討 4日目 ・進捗状況報告会(中間報告) ・実践報告会に向けた準備 5日目 ・実践報告会</p>	<p>【講師】 上野原市立病院 感染管理認定看護師 山田 かつ美</p> <p>健康科学大学看護学部 講師 堀口 まり子</p> <p>【演習支援者】 感染管理認定看護師 4名</p> <p>【実践報告者】 2022年度感染予防【応用編】 受講者 2名</p>
<p>15. 看護倫理*</p> <p>看護職者としての倫理的感性を磨こう!</p> <p>1日間 2024年1月18日(木)</p> <p>【ラダー I～Ⅱ】</p>	<p>【研修のねらい】 看護倫理に関する基礎的知識を学び、倫理的問題を解決するための考え方を理解する。</p> <p>看護実践において倫理的問題に遭遇することは多いです。看護倫理は、看護を実践する上で基盤となります。看護倫理を学ぶことで、倫理的感受性を高め、より患者に寄り添った看護の実践や自己の看護観を見つめる機会となります。すべての経験年数の看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)を対象として開催します。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】 ・看護倫理とは ・看護倫理に関連する理論 ・患者・家族の意思決定のプロセス ・臨床で直面する倫理的問題 ・事例検討</p>	<p>【講師】 山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 助教 慢性疾患看護専門看護師 武田 真弓</p>
<p>16. 退院支援*</p> <p>病院と地域をつなぐ入退院支援～住み慣れた地域で暮らし続けるために～</p> <p>2日間 ① 11月28日(火) ② 2024年2月20日(火)</p> <p>【ラダー Ⅱ～Ⅲ】</p>	<p>【研修のねらい】 入退院支援の基本的知識を学び、実践に取り組み、その経過や成果を報告することで、今後の更なる課題を見出す。</p> <p>病院と地域の連携についての基本的な考え方やノウハウ、一連のプロセスを学んだ後、日々の勤務の中で、患者さんの退院支援でアセスメントすべきことは何か、大切にすべきことは何か、今の自分が最大限できることは何かを常に意識しつつ、看護師以外の他職種ともチームワークを高め合いながら、退院支援を実践してみましょう。※1日目と2日目の間に実践レポートの課題があります</p> <p>【主な内容(講義・演習)】 1日目 ・退院支援マネジメントの基本 ・地域包括支援センターにおける保健師の役割と実践 ・訪問看護師の役割と在宅療養の実際 ・実践レポートの書き方 2日目 ・実践事例の検討</p>	<p>【講師】 山梨県立大学看護学部 地域・精神健康支援看護学 教授 泉宗 美恵 他</p> <p>【演習支援者】 2023年度訪問看護等在宅ケア推進委員</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>17. 外来看護</p> <p>NEW</p> <p>地域包括ケアシステムにつなげる外来看護</p> <p>1日間 10月19日(木)</p> <p>【ラダー II～III】</p> <p>【受講対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来業務に従事している看護師、従事したことのある看護師 ・ 在宅療養支援に興味のある看護職(保健師・訪問看護師を含む) 	<p>【研修のねらい】</p> <p>在宅療養支援のための外来看護の意義や役割を理解し、外来での支援のあり方について学ぶ。</p> <p>2020年12月、「医療計画の見直し等に関する検討会」で「外来機能の明確化・連携、かかりつけ医機能の強化等に関する報告書」が出され、在宅療養生活の継続や生活の質を維持した支援に貢献できる看護の推進の重要性が言われています。地域包括ケアシステムが推進され、病院完結から地域完結の医療に転換しつつある今、医療と在宅をつなぐ外来における在宅療養支援としての看護職の役割や機能について理解し、令和の時代に対応した外来看護について学びを深めましょう。外来勤務の看護職以外の方の受講も推奨いたします。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の外来医療の変化 ・ 診療報酬からみた在宅療養支援 ・ 自施設の外来看護の現状を振り返る ・ 継続看護の重要性(入院前支援、退院後支援など) ・ 外来における在宅療養支援に必要なこと ・ 患者のニーズを的確に把握して支援につなげるポイント ・ 病棟、外来、地域がつながりあった支援体制のあり方 ・ 外来看護師の力量形成、役割発揮に向けて 	<p>【講師】</p> <p>慶應義塾大学 看護医療学部 健康マネジメント研究科 教授 永田 智子</p>
<p>18. 急性期看護(呼吸器・循環器)*</p> <p>呼吸器ケアと循環器ケア ～呼吸不全・心不全についての知識と技術の向上を目指して～</p> <p>3日間 オンライン ① 9月29日(金) ② 10月13日(金) ③ 11月9日(木)</p> <p>【ラダー II～III】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>呼吸不全、心不全のある患者のアセスメントをし、異常を早期発見して対応できる知識と技術を学ぶ。</p> <p>呼吸不全や心不全の看護ケアの向上を目指した研修です。解剖生理、呼吸器系・循環器系のフィジカルアセスメント、呼吸不全・心不全のリハビリテーション、最終日には肺や気管の位置確認、呼吸介助法、聴診法、ポジショニング、体位排痰法等を認定看護師や専門看護師、理学療法士の先生方から学びます。“明日から実践に活かせる”研修です。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 呼吸器系および循環器系の基礎知識とフィジカルアセスメント <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 急性呼吸不全と看護、排痰ケア ・ 慢性呼吸不全と看護、在宅療養の実際 ・ 心不全と看護 ・ 心臓リハビリテーション、呼吸リハビリテーション <p>3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聴診法 ・ ポジショニング ・ 呼吸介助法、咳介助法 ・ 体位排痰法 等 	<p>【講師・演習支援者】</p> <p>山梨県立中央病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 乙黒 恵子</p> <p>訪問看護ステーションすみ 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 丸茂 砂百合</p> <p>甲府共立病院 望月 ひとみ 富士吉田市立病院 山口 昂 上記2名、集中ケア認定看護師 富士吉田市立病院 急性・重症患者看護専門看護師 渡邊 泰子</p> <p>石和共立病院 総合リハビリテーション室 室長 山田 洋二</p> <p>【演習支援者】 上記講師のほか 県内病院 リハビリテーション科 室長・チーフ・主任 等 4名</p>
<p>19. 周術期看護</p> <p>周術期をめぐる患者の看護</p> <p>1日間 12月9日(土)</p> <p>【ラダー I～II】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>手術前～術後回復期までの周術期看護の基本的な知識・態度を習得する。</p> <p>手術を受ける患者の理解や手術前中後、それぞれの時期の看護の目的や役割を学びます。手術中の看護については、手術看護の最近の動向、手術体位、感染予防などに関する看護を学びます。手術室勤務の方だけでなく、周術期看護に関わる方にも受けていただきたい研修です。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手術を受ける患者の理解 ・ 手術前中後の看護の目的と役割 ・ 手術室看護師の役割と責務、看護の倫理 ・ 麻酔が患者にあたる影響 ・ 手術体位、手術に関連する機械等の影響とその予防 ・ 手術室の感染対策 ・ 周術期の看護のトピックス 等 ・ 日帰り手術を受ける人への看護 	<p>【講師】</p> <p>山梨大学医学部附属病院 看護師長 櫻本 かおり</p> <p>山梨大学医学部附属病院 副看護師長 手術室看護認定看護師 溝口 真由美</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>20. 看取りの看護</p> <p>希望する最期を迎えるための看護職の役割</p> <p>1日間 11月2日(木)</p> <p>【ラダー II～III】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>看取りについて理解を深め、本人が希望する最期を迎えるための意思決定支援や多職種連携における看護職の役割を学ぶ。</p> <p>病院、在宅を問わず、本人が希望する最期を迎えるために、多職種連携のカギとなる看護職の役割は大きく、そのため看取りについての理解を深め、患者・家族に寄り添いながら支援する能力の向上を意図して企画しました。もしバナゲームを通して、自己の価値観等を見つめる機会になります。病院、在宅を問わず、看取りについての理解を深められる研修です。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養支援、診療所医師の立場から ・今日の看取りの現状と課題 ・多職種連携 ・事前に寄せられた課題や事例に関する意見交換 ・アドバンスケアプランニング(ACP)とは ・協働意思決定における問題 ・もしバナゲーム™ 	<p>【講師・演習支援者】</p> <p>在宅療養支援診療所 上條内科クリニック 院長 上條 武雄</p> <p>山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 講師 高岸 弘美</p>
<p>21. 小児看護 *</p> <p>子どもの心理発達と虐待予防</p> <p>1日間 オンライン 10月27日(金)</p> <p>【ラダー I～III】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>子どもの成長や心理発達の理解と子どもを守るために、虐待予防や養育環境に関して支援を考える。</p> <p>子どもの虐待の報告件数の増加し、児童虐待による死亡事例も後を絶たない状況です。虐待を受けている子どもは、身体的発達だけでなく心理的発達も影響を受け、リストカットなど様々な問題も抱えやすいとも言われています。医療機関や市町村などの行政機関で働く看護職は、児童虐待や虐待を疑わせる事例に関わらなければならない場合もあります。看護職が子どもの心理的発達や、養育環境の影響などの知識を持ち、子どもの虐待への支援への示唆を得る機会となるよう企画しました。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心理と発達の特徴 ・子どもの虐待対応 ・フィジカルアセスメント(子どもの視野体験を含む) 	<p>【講師】</p> <p>元 山梨県立北病院 精神科医師 江間 彩子</p> <p>山梨赤十字病院 長田 栄子</p> <p>市立甲府病院 小泉 恵理子</p> <p>上記2名、小児救急看護認定看護師</p>
<p>22. 母性看護 *</p> <p>ライフサイクルから捉える女性のヘルスケア</p> <p>1日間 7月20日(木)</p> <p>【ラダー I～II】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>思春期から中高年期における女性のライフサイクルと女性特有の健康問題について学び、ケアの必要性やヘルスケアについて理解できる。</p> <p>女性はホルモンバランス等の影響を受けやすく、心身の不調は日々の生活や仕事、人間関係にも影響を及ぼします。この研修で女性の健康問題や必要なケアを理解することで、ご自身の健康を振り返る機会になり、職場スタッフの健康相談への対応のヒントが見出せるかもしれません。後半はストレッチとヨガの演習を予定しています。※ヨガが初めての方も受講いただけます。ヨガマットを貸与します。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性のライフサイクルとホルモン動態 ・仕事を持つ女性特有の健康問題(不眠、月経障害、不妊、更年期障害等) ・女性の健康管理 ・ストレスマネジメント ・自己の傾向を知る ・最近のトピックス ・エクササイズ(ストレッチとヨガ体験) 	<p>【講師】</p> <p>山梨大学大学院総合研究部 生涯発達看護学 母性看護学 助産学 教授 小林 康江</p> <p>山梨大学大学院総合研究部 生涯発達看護学 母性看護学 助産学 助教 佐々木 美果</p> <p>Prana Yoga & Ayurveda 主宰 ヨガセラピスト 石原 里佳子</p>
<p>23. 精神疾患患者の理解</p> <p>精神障がい者を理解したコミュニケーション</p> <p>1日間 11月7日(火)</p> <p>【ラダー I～II】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>精神障がい者の思考と行動の特徴などを理解し、対象者も自分も不安を感じないようなコミュニケーションの取り方を学ぶ。</p> <p>精神科では、患者の疾患から来る症状や向精神薬などにより、コミュニケーションも影響を受けやすく、そのため看護職の患者の特徴に応じたコミュニケーションスキルが大切になります。この研修では、看護職がコミュニケーション能力を高めることにより、精神障がい者が自分の考えや自分らしさを表現でき、それを支援することで、その人らしさを支えることができることをねらいとしています。ロールプレイを通して、体験しながら具体的にどのように対応したほうが良いのか、また治療的コミュニケーション等について学ぶことができます。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者の思考と行動の特徴 ・精神障がいの疾患や症状特徴に応じたコミュニケーションの考え方 ・精神障がい者のコミュニケーションのあり方(精神障がい者と対面場面の対応に関するシナリオ作り、ロールプレイ) 	<p>【講師】</p> <p>山梨県立北病院 精神看護専門看護師 武井 千寿</p> <p>【演習支援者】 精神看護専門看護師 2名</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>24. 発達障害</p> <p>発達障害の傾向がある大人の特徴を理解した支援 ～スタッフ・学生の指導に活かす～</p> <p>1日間 8月23日(水)</p> <p>【ラダー II】</p>	<p>【研修のねらい】 発達障害の傾向のあるスタッフ・学生の特徴を理解し、その人が自分らしい社会生活を送れるための支援について考える。</p> <p>平成17年4月、発達障害者支援法に基づいた取り組みがスタートしました。発達障害のある人の理解やそれぞれのライフステージ(年齢)にあった適切な支援を受けられる体制を整備することを目指しています。医療や看護の臨床現場においても、発達障害を持ち職場適応に困難を感じている人や指導に困難を感じている指導者もいることが予想されます。発達障害をもつ人または傾向のある人の特徴やよりよい支援方法を学び、彼らが自分らしく働けるための支援を考える機会とすることをねらいとしています。</p>	<p>【講師】 山梨県立北病院 精神科医長 長谷部 真歩</p> <p>【講師・演習支援者】 精神看護専門看護師 2名</p>
<p>25. がん看護 *</p> <p>がん看護のアップデート</p> <p>5日間 オンライン ①8月7日(月) ②9月27日(水) ③10月5日(木) ④11月1日(水) ⑤12月8日(金)</p> <p>【ラダー II～III】</p>	<p>【研修のねらい】 がんを患っている人やその家族に対して専門性の高い看護を提供するための基本的知識・技術・態度を習得する。</p> <p>山梨県内の臨床現場で活躍する専門看護師や認定看護師から、がんの治療期から終末期のケアに必要な知識について学びます。日進月歩のがん医療やケアについて学びを深めましょう。 ※事例検討会はありません</p>	<p>【講師】 山梨県福祉保健部健康増進課 がん対策推進担当</p> <p>山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 教授 前澤 美代子 富士吉田市立病院 小池 賀津江 市立甲府病院 嶋田 やよい 上記3名、がん看護専門看護師 市立甲府病院 志村 美和 上記、がん化学療法看護認定看護師 甲府共立病院 高橋 知子 山梨県立中央病院 宮久保 朱実 上記2名、がん性疼痛看護認定看護師 山梨県立中央病院 中込 智重子 訪問看護ステーションやすらぎ 藤原 恵 貢川訪問看護ステーション 望月 和子 上記3名、緩和ケア認定看護師</p>
<p>26. 摂食嚥下障害看護</p> <p>摂食嚥下障害をもつ人への看護</p> <p>1日間 9月4日(月)</p> <p>【ラダー I～II】</p>	<p>【研修のねらい】 摂食嚥下のしくみとその障害をもつ人を理解し、経口摂取を促進するための看護について学ぶ。</p> <p>老年人口も増加し摂食嚥下に問題を持つ患者や利用者も多くなっています。この研修では、人間にとっての食べる意義や摂食嚥下のメカニズムから嚥下評価、訓練の在り方、口腔ケア、他職種間連携まで、摂食嚥下に関する幅広い知識を学習します。摂食嚥下に関して講師の様々な工夫や体験も参考になる研修です。高齢者介護施設等に勤務する看護職にも受講いただきたい研修です。</p>	<p>【講師】 常葉大学健康科学部看護学科 老年看護学 講師 小澤 公人</p> <p>【講師・演習支援者】 摂食嚥下障害看護認定看護師 2名</p>

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>27. せん妄ケア *</p> <p>現場に活かせるせん妄予防～発症予防・重症化予防のポイントを学ぶ～</p> <p>2日間 オンライン ①8月28日(月) ②9月11日(月)</p> <p>【ラダー II】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>せん妄予防に関する知識・技術・態度を習得し、せん妄を予防し、重症化・長期化させないための対応について学ぶ。</p> <p>令和2年度診療報酬改定にてせん妄ハイリスク患者ケア加算が創設され、せん妄リスク因子の有無を判断し、薬物を使用せずに早期からせん妄を予防するための対応が評価されています。せん妄について正しく理解し、患者や利用者が安全・安楽な生活を送るためのケアや支援について学びます。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せん妄の基礎知識、原因、悪化促進因子 ・せん妄の評価、せん妄と薬物、せん妄の治療、予防と対策 ・せん妄ケアに関する現場の課題 <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツール、スケールの活用方法について ・せん妄発症時のケアと効果的なせん妄予防対策 	<p>【講師】</p> <p>公立阿伎留医療センター 緩和治療科 部長 精神腫瘍医 小林 薫 山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 講師 老人看護専門看護師 橋本 晶子</p>
<p>28. 糖尿病看護</p> <p>糖尿病看護の基本と行動変容を促す療養支援のコツ</p> <p>2日間 ①10月23日(月) ②11月11日(土)</p> <p>【ラダー I～Ⅲ】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>糖尿病看護の基本的知識を学び、糖尿病療養者を理解するとともに、療養支援において具体的かつ実践的な支援方法を学ぶ。</p> <p>糖尿病看護について再学習したい方、初学者からベテランまでを対象とした研修です。糖尿病療養者への看護に対する苦手意識がある方は特に受講をお勧めします。2日目はDVD視聴や咀嚼体験、症例検討等、実践的に学びます。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病とは、糖尿病合併症、治療、関連した検査 ・糖尿病患者さんとの接し方、介入方法 <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くせ」と「ずれ」、糖尿病患者の食事療法体験 ・マインドフルネス、コーチングの技法を用いたアプローチ ・糖尿病療養支援の仕方、症例検討 	<p>【講師】</p> <p>加納岩総合病院 糖尿病看護認定看護師 渡邊 裕介 いけだ糖尿病・甲状腺クリニック 院長 池田 真人</p>
<p>29. 脳血管(急性期・回復期) *</p> <p>脳血管障害をもつ人の生活再構築支援～急性期から回復期・生活期まで～</p> <p>5日間 オンライン ①7月7日(金) ②8月29日(火) ③9月3日(日) ④10月20日(金) ⑤11月8日(水)</p> <p>【ラダー II～Ⅲ】</p>	<p>【研修のねらい】</p> <p>脳血管障害をもつ人の生活再構築支援に必要な基本的知識・技術・態度を習得し、脳卒中リハビリテーション看護を実践する能力の向上を図る。</p> <p>脳血管障害をともに乗り越え、障害を抱えつつ生活する人々に寄り添うために私たちにできることは何か?リハビリテーション専門職(PT・OT・ST)の役割や他職種との連携・協働について、脳血管障害看護の全ての病期を統合させた継ぎ目のない看護を提供するための基本的知識・技術・態度について、およそ7～11月の期間をかけてじっくり学びます。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中概論(分類・診断等)、脳卒中の初期治療 ・治療ガイドライン、脳血管障害の急性期治療の実際 等 <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過別に見た脳卒中看護、脳卒中看護における倫理的課題 等 <p>3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害の概略、易怒性事例や問題行動への工夫対応 ・環境調整、就労支援、小児における事例、支援者の配慮 等 <p>4日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション医療の現状、リハ専門職の役割 ・看護とセラピストの連携協働によるADLアプローチ <p>5日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害への対応、失語症の理解と対応 ・在宅療養利用者への支援の実際 ・介護保険制度の利用、各種サービスの活用 等 	<p>【講師】</p> <p>山梨大学医学部脳神経外科 講師 吉岡 秀幸 山梨県立大学看護学部実践基盤看護学 講師 新藤 裕治 東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 診療部長 渡邊 修 山梨大学医学部附属病院 理学療法士 八木野 義孝 山梨リハビリテーション病院 作業療法士 佐尾 健太郎 湯村温泉病院 言語聴覚士 赤池 三紀子 看護小規模多機能居宅介護 まいほーむいけだ 在宅看護専門看護師 河西 由貴</p>

(*は山梨県委託事業)

研修名・開催日・ラダー	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
30. 透析看護 ひとつとじゃない！ 慢性腎臓病(CKD) ～予防から維持透析まで～ 1日間 6月30日(金) 【ラダー I～II】	【研修のねらい】 慢性腎臓疾患や透析医療をめぐる今日の問題や透析看護の基本的知識を理解し、透析医療に携わる看護職の役割について考える。 慢性腎臓病に関心のある方が対象です。腎代替療法を受ける患者の不安や心理、看護師の関わり、透析医療に関して日頃抱えている悩みやジレンマを解決する糸口を見出せるかもしれません。クリニック等に勤務する看護師、CKD予防に携わっている行政保健師の方にもお勧めします。	【講師】 福島県立医科大学甲状腺内分泌学講座 主任教授 古屋 文彦 山梨県立中央病院 清水 美樹 笛吹中央病院 来城 順子 上記2名、透析看護認定看護師
31. 褥瘡ケア 褥瘡ケアの基本的知識 ～予防からケア計画の立案まで～ 【ラダー I～II】	【研修日程】【研修のねらい】【主な内容】【講師・演習支援者】 等は、分類1の14ページ参照	

分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

(*は山梨県委託事業)

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
32. 看護管理 組織の課題と問題解決思考 1.5日間 オンライン ①6月1日(木) 9:30～12:30 ②6月20日(火) 9:30～16:00 【受講対象】 開講年度のファーストレベル受講予定者、経験年数10年目以上で、分析手法を用いた組織の現状分析に関して興味・関心のある看護職	【研修のねらい】 問題を整理し、あるべき姿を目指して現場を動かすために必要な、論理的な問題解決思考とスキルについて学ぶ。 普段、職場や組織で感じている問題はありますか？この研修では、問題を整理して“あるべき姿を目指し、現場を動かす”論理的な解決思考とスキルについて学びます。ファーストレベルの受講者は、組織分析の考え方を活用してレポートをまとめることが求められますので、受講をお勧めします。また、管理者だけでなく、経験を積んだ看護職や10年目以上の看護師で問題解決の思考や方法を理解したい方の受講もお待ちしております。	【講師】 山梨大学大学院総合研究部医学域 臨床医学系 山梨大学医学部附属病院 経営管理部 教授 小林 美亜
33. 中間管理者 * 【新任副看護師長(主任)対象】 看護管理の第一歩 4日間 ①8月3日(木) ②9月13日(水) ③10月17日(火) ④11月21日(火) 【受講対象】 新任副看護師長(主任)、今後看護管理者としての役割を担う者	【研修のねらい】 組織における副看護師長(主任)の立場・役割が理解でき、役割遂行にあたっての課題とその解決策を導き出し、課題解決に向けて現場で実践する。 副看護師長や主任に着任した方を対象とした研修です。看護管理とは何か、看護管理者としての心構えや役割について学びます。起こりうる事象を解決するための様々な問題解決技法について学び、自部署を分析してみましょう。	【講師・演習支援者】 市立甲府病院 看護部長 小石川 好美 白根徳洲会病院 看護部長 佐藤 あけみ 【演習支援者】 認定看護管理者 3名
34. 看護補助者活用推進 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 改訂版2022 ※診療報酬加算対象研修	【研修日程】【研修のねらい】【主な内容】【講師・演習支援者】 等は、分類1の13ページ参照	

分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育

(*は山梨県委託事業)

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
35. 教育【実践編】* 【教育委員・研修担当者対象】 施設内研修企画に必要な基礎知識～研修企画のプロセスを学ぼう～ 2日間 オンライン ①7月24日(月) ②8月22日(火)	【研修のねらい】 効果的な施設内教育を行うための研修企画のプロセスを学び、研修を企画できる。 成人学習者の特徴や継続教育の必要性など基本的要素を学んだ後、自部署や自施設の課題をもとに、研修の計画案の作成から評価案の作成までの一連の流れを、講師の助言やペアでの意見交換を通して丁寧に学びます。研修を企画することの奥深さや自分の力で必要な研修を考える楽しさを実感できます。	【講師】 日本赤十字看護大学看護学部 看護管理学 教授 安部 陽子
	【主な内容(講義・演習)】 1日目 ・教育の必要性 ・成人学習者の特徴 ・現任教育の現状と課題 ・研修企画・評価の基本的要素 ・受講者のニーズの把握 ・研修目的・目標・内容の設定 ・教育形態の選定、講師の選定 2日目 ・研修企画(案)と研修評価(案)の作成と修正	

分類5 資格認定教育

36. セカンドレベル

開催期間	教育目的・到達目標・教科目	受講要件	受講形態	定員・受講料	申込期間
6/1(木) ～ 8/31(木) 32日間	【教育目的】 看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な基本的知識・技術・態度を習得する。 【到達目標】 1. 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理課程を展開できる。 2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。 【教科目】 ・ヘルスケアシステム論Ⅱ ・組織管理論Ⅱ ・人材管理Ⅱ ・資源管理Ⅱ ・質管理Ⅱ ・統合演習Ⅱ ・特別講義 (全183時間)	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または、看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。	対面・ オンライン (zoom) 併用研修	【定員】 30名 【受講料】 会員 180,000円 非会員 270,000円	3/20(月) ～ 4/14(金)

37. ファーストレベル

開催期間	教育目的・到達目標・教科目	受講要件	受講形態	定員・受講料	申込期間
10/2(月) ～ 11/30(木) 20日間	【教育目的】 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。 【到達目標】 1. ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2. 組織的看護サービスの提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。 【教科目】 ・ヘルスケアシステム論Ⅰ ・組織管理論Ⅰ ・人材管理Ⅰ ・資源管理Ⅰ ・質管理Ⅰ ・統合演習Ⅰ ・特別講義 (全117時間)	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 管理的業務に関心がある者	対面・ オンライン (zoom) 併用研修	【定員】 50名 【受講料】 会員 91,000円 非会員 136,500円	7/3(月) ～ 7/21(金)

☆セカンドレベル、ファーストレベルの詳細は、山梨県看護協会ホームページをご覧ください。

分類6 人材育成

(*は山梨県委託事業)

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
38. アンガーマネジメント 看護職のためのアンガーマネジメント ～感情コントロールを身につけ、怒りとうまく付き合うために～ 1日間 12月12日(火)	【研修のねらい】 アンガーマネジメントを学び、自分自身の怒りの感情やストレスを上手に受け止めながら働くための知識や考え方を学ぶ。 「怒り」とは何か、感情のコントロール方法、看護の現場で怒りやストレスを上手く受け止めながら働く方法など、アンガーマネジメントについて広く学びます。日々の看護の場面以外でも、プライベートでの自身の怒りとどう向き合うかについても考えられる研修です。	【講師】 訪問看護ステーション緑風 管理者 精神科認定看護師 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会アンガーマネジメントファシリテーター 渡邊 恭佑
39. 看護リフレクション NEW 看護リフレクション ～看護の質を高める看護実践・体験の語り～ 1日間 10月14日(土) 9:30～16:30 【受講対象】 経験3年目以上10年目ごろまでの中堅看護職(看護管理者のぞく)	【研修のねらい】 看護リフレクションの体験を通し、日々の看護体験や実践を意識的に振り返り、看護の価値や看護観を育む意義、取り組み方を理解する。 リフレクションは、「熟考すること、内省すること」の意義があり、自己の体験を振り返り、自己の考えや行動を深く省みる事です。リフレクションは、自己理解の促進、習慣的行為からの脱却、人間的成熟、状況の概念化の力の育成等につながるといわれています。看護職は、日々忙しい業務の中で、「あれ？」という事が流れていってしまっている現状もあります。この研修では、自分の体験したことを客観的に振り返り、意味や、あり方を見つめ直していく意義や考え方を学びます。	【講師】 日本赤十字北海道看護大学看護学部 成人看護学 教授 東 めぐみ
40. ティーチング・コーチング ティーチング・コーチングを活用したスタッフ指導 ～自立したスタッフを育成するために～ 1日間 2024年3月3日(日)	【研修のねらい】 スタッフ指導におけるティーチング・コーチングの基本を学び、体験を通して意識と行動を変容できる関わり方を習得する。 褒めることや叱ることは、本来のティーチング、コーチングではありません。褒められなくても、叱られなくても、たとえこちらの助言を無視されようとも、スタッフの自立度を見極め、進むべき道を目指す、決してあきらめない…。新人看護職と関わるプリセプター等、スタッフ教育に携わる経験年数3年目以上の看護職を対象とした研修です。	【講師】 東京女子医科大学 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹
41. ファシリテーション 看護の現場で活かすファシリテーターの役割 ～よりよいカンファレンス・会議に向けて～ 1.5日間 ①8月29日(火) ②8月30日(水) ②のみ9:30～12:00 【受講対象】 経験年数5年目以上の看護職	【研修のねらい】 集団による問題解決能力プロセスを学び、カンファレンスにおけるファシリテーターの役割を見出す。 看護の職場では、様々なカンファレンスが実施されることが多いです。その中でファシリテーションは、参加者の意見を十分に引き出し、有効なカンファレンスとなるために必要なスキルです。この研修では、集団学習の効果がより高まるようなファシリテーターの役割や考え方を学びます。	【講師】 埼玉県立大学保健医療福祉学部 看護学科 教授 國澤 尚子

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>42. 全看護職対象</p> <p>看護職のメンタルヘルス ～自分のこころをケアしよう～</p> <p>1日間 9月7日(木)</p>	<p>【研修のねらい】 自分のこころの状態を知り、同じストレスや孤立・孤独を感じている人と思いを共有し、自分なりのメンタルヘルスを考え、少しでもこころの重りを軽くしていきませんか？</p> <p>看護職は、人々のいのちや健康、生活に関わる仕事です。そのため、たくさんのやりがいがある反面、様々なストレスも多いと言われてます。看護職は、コロナ発生以前にも増して、多くの業務や対応を求められ、心身ともに疲弊している状態です。したがって、今こそメンタルヘルスについて学び、「もうダメ・・・」とこころが折れてしまう前に、自分のこころの状態を少し見つめてみませんか所属・経験年数・職種を問わず、すべての看護職を対象とした研修です。</p>	<p>【講師・演習支援者】 山梨県立大学看護学部 地域・精神健康支援看護学 准教授 野澤 由美 山梨厚生病院 精神看護専門看護師 志村 聡子 日下部記念病院 精神看護専門看護師 春日 飛鳥</p>
<p>43. 新人看護職対象</p> <p>NEW</p> <p>身に付けよう！専門看護職業人として働くために必要な社会人基礎力</p> <p>各0.5日間 ※①②は同内容 ①5月10日(水) 9:30～12:30 ②5月10日(水) 13:30～16:30</p> <p>【受講対象】 経験年数1年未満の看護職</p>	<p>【研修のねらい】 チームの一員として育ち、活躍するために社会人基礎力を培う意義を理解し、実践していく足がかりをつかむ。</p> <p>どのような職業においても仕事をしていく上で共通な必要となる能力は、社会人基礎力ともいわれています。現在の医療や看護は、チーム医療、対象者の意思の尊重、専門性を活かした安全・安心、質の良い医療の提供が求められています。看護職としての専門力の活かし方も社会人基礎力によって培われるともいわれています。新人看護職が社会人基礎力を養い、チームの中で成長してけるためにこの研修を企画しました。</p>	<p>【講師】 聖マリアンナ医科大学 看護師対策部門担当執行役員 ナースサポートセンター長 高橋 恵</p>
<p>44. 新人看護職対象</p> <p>看護職として生き生きと働くために</p> <p>各0.5日間 ※①②は同内容 ①7月4日(火) 13:00～16:00 ②7月6日(木) 13:00～16:00</p> <p>【受講対象】 経験年数1年未満の看護職</p>	<p>【研修のねらい】 看護専門職として生き生きと働くためのあり方を学び、他施設の新人看護職と交流することで、仲間意識を高める。</p> <p>今年度の新入職者も、新型コロナウイルス感染症による影響で、学生の時期に必要な十分な教育環境で学ぶことができなかった方も多いためです。社会人としての厳しい現実と向き合っている方も多いためです。今の自分の状態を少しでも振りかえり、日々感じている様々な思いや悩みを同期と分かち合うことで「自分だけが辛いのではなく、みんなも同じ。明日からまた頑張ろう！」と前向きな気持ちになれる研修です。</p> <p>☆山梨県看護協会活動の紹介も山梨県看護協会会長からさせていただきます。</p>	<p>【講師】 山梨県立大学看護学部 名誉教授 文珠 紀久野</p>
<p>45. 中堅看護師対象</p> <p>キャリア形成の“これから”を考える</p> <p>0.5日間 6月29日(木) 13:00～16:00</p> <p>【受講対象】 経験年数5～10年目の看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)</p>	<p>【研修のねらい】 中堅看護師としての自覚を持ち、今後のキャリアについて考えることができる。</p> <p>勤務している職場において中堅看護師を対象とした研修会に参加されていると思いますが、この研修会では、自施設以外で働く中堅看護師と、同じ経験知を有する看護職と日々の仕事のことや今後のキャリア形成について話し、交流してみませんか。</p>	<p>【講師】 山梨県民主医療機関連合会 事務局長 認定看護管理者 村松 裕子</p>

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>46. 准看護師対象 *</p> <p>看護過程の基本を学ぶ</p> <p>2日間 ①9月21日(木) オンライン予定 ②9月28日(木) 対面予定</p> <p>【受講対象】 准看護師</p>	<p>【研修のねらい】 看護過程の意義、考え方を基礎から学まなび、より良い看護実践につなげる知識・技術を身につける。</p> <p>准看護師が看護師と協働して看護を行うためには、看護過程の思考の概要を理解しておくことがチーム医療を進める上で大切です。現場の准看護師からは、情報やアセスメントが適切に書けないという声が多々聞かれています。困っていることや苦手とすることをじっくり学び、今実際に行っていることをより良い看護実践にしてける学びができる研修として企画しています。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護過程意義 ・看護過程のプロセス ・事例の中から情報の整理の考え方 ・関連図の作成と全体像把握、アセスメントの考え方 ・看護問題の抽出、統合、問題の明確化 ・看護計画立案の考え方 ・看護記録に関すること 	<p>【講師】 帝京山梨看護専門学校 校長 棚本 知砂美</p>
<p>47. 保健師対象 *</p> <p>災害時における行政保健師の役割と行動</p> <p>2日間 ①8月26日(土) ②9月15日(金)</p> <p>【受講対象】 災害対応に関心のある行政保健師、リーダー的立場の保健師</p>	<p>【研修のねらい】 自然災害における行政保健師の役割を理解し、災害に対応できる能力を高める。</p> <p>各地で毎年のように自然災害が発生する中で、災害時における保健師の役割を修得することは必須ですが、山梨県は幸いにも大きな災害に遭遇していません。大規模災害時に保健師が全員参集出来るとは限らず、経験年数が浅い者でも活動を行っていかねばならないことを考えると、多くの保健師に受講していただきたい研修です。演習では、想定された災害の状況に対し、具体的にシミュレーションしながら保健師としての判断や行動について学び、実践力の向上を目指します。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】</p> <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時(地震ないし水害)における行政保健師の役割 ・避難所運営シミュレーション ・避難所のアセスメント ・フェイズ0~2の保健活動 ・リフレクション <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受援に関わる行政保健師の役割 ・災害時の倫理的課題と意思決定 ・県外保健師への情報提供内容 ・派遣、応援支援に関する判断、課題 ・リフレクション 	<p>【講師】 自治医科大学看護学部 看護学部長 地域看護学 教授 春山 早苗</p> <p>【演習支援者】 自治医科大学看護学部 地域看護学 准教授 鳥田 裕子</p>
<p>48. 看護管理</p> <p>組織の課題と問題解決思考</p>	<p>【研修日程】【研修対象】【研修のねらい】【主な内容(講義・演習)】【講師】等は、分類3の22ページ参照</p>	

分類7 看護研究

(*は山梨県委託事業)

研修名・開催日	研修のねらい・主な内容	講師・演習支援者(敬称略)
<p>49. 看護研究【基礎編】</p> <p>日頃の疑問を研究につなげる</p> <p>2日間 ①9月12日(火) ②10月3日(火)</p>	<p>【研修のねらい】 看護実践の場における疑問を研究テーマにつなげるために必要なことを理解でき、文献を利用しながら、自己の疑問と研究課題を関連付ける。</p> <p>初めて研究する際に最初に戸惑う、テーマをどうするか、何をするか、といった悩みを解決する糸口となるよう、看護研究に取り組む基本を学ぶ研修として企画しました。臨地の疑問から研究課題を絞る、問題明確化のプロセスを講義やグループ演習で体験しながら学び、文献検索や文献抄読も行うことで、興味を持って研究に取り組むきっかけとすることを目的としているため、来年度以降に看護研究に取り組む方に適した研修です。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】 1日目 ・研究とは? ・研究サンプル、テーマの選び方 ・研究課題の明確化 ・文献を読む(クリティーク) ・医学中央雑誌を活用した文献検索 2日目 ・関心テーマに沿って集めた「研究」を読む ・明らかになっていること、いないことの見極め ・概念枠組みの検討 ・研究倫理と利益相反</p>	<p>【講師・演習支援者】 山梨県立大学看護学部 成人・老年実践応用看護学 准教授 井川 由貴</p> <p>【演習支援者】 山梨県内看護系大学ないし看護専門学校 教員 3名</p>
<p>50. 看護研究 【基礎から実践への架け橋編】*</p> <p>研究過程に必要な技術を身に付ける</p> <p>6日間 ①6月8日(木) ②7月20日(木) ③8月24日(木) ④9月14日(木) ⑤11月16日(木) ⑥2024年1月11日(木)</p>	<p>【研修のねらい】 看護研究の一連の流れや看護研究に必要な手法を理解し、これから看護研究を実践するための知識や技術を具体的に身に付ける。</p> <p>看護研究には様々な過程があります。この研修では6日間にわたり、模擬研究を用いながら演習を含めて看護研究について体系的に学びます。看護系大学教員の先生から看護研究のためのコツやヒントを聴くプログラムも予定しています。</p> <p>【主な内容(講義・演習)】 1日目 ・看護研究の概要をつかむ ・医学中央雑誌を活用した文献検索 2日目 ・文献紹介 ・研究計画案の検討 ・研究過程の実際① 3日目 ・調査の準備 ・倫理的配慮の検討 ・研究過程の実際② 4日目 ・統計の基本 ・データの整理および解釈 5日目 ・研究のまとめ ・発表準備 (追加分析、図表作成、スライド作成、発表原稿作成 等) 6日目 ・模擬研究発表会 ・研究実践に向けた今後の抱負</p>	<p>【講師・演習支援者】 元 山梨大学大学院総合研究部 基礎・臨床看護学講座基礎看護学領域 准教授 内田 一美</p> <p>【演習支援者】 山梨県内看護系大学ないし看護専門学校 教員 5名</p>